



# 幸 齡 社 会

## 人生これから シニア情報館



シニアライフアドバイザー

松本すみ子

買い物物のレジで、「ポイントカードをお持ちですか」と聞かれることが増えました。「ありません」と答えると、カードを作ることを勧められたりしますが、私は大抵、お断りを。カードが多くて、財布が膨らむのが嫌だったからです。

ところが最近、立て続けにポイントで「お得な体験」をし、

### ポイントを利用

もつと関心を持った方がいいと考えるようになりました。

その体験は、まず、よく行く

居酒屋でのこと。友人との割り勘を会計に頼むと、私が持っていた店のカードに、ポイントが相当たまっていることが判明。

利用すると1人当たりの金額が

激減し、大喜びでした。

次に、贈り物

に使う「お取り

寄せサイト」で

選んだ時のこと。購入の際にポイントが支払額を上回っていることに気付き、無料で買ったのです。見逃さないで、よかったです。思いました。

以来、私はコンビニで現金を使わず、たまったポイントで支

払うことも増えました。自分なりに「今月はポイントで節約」と決めて楽しんでいきます。

このような体験は、それほど

特別なものではないでしょう。ポイントは、普段の消費で無理なくたまります。

また、ポイントが買い物以外

に、被災地への義援金や、スポ

## 賢く使えば家計の助けに

1ツ振興団体、先進医療の研究施設に寄付、ふるさと納税などに使える場合もあります。

とりわけ、ポイントを上手に使う生活をお勧めしたいのは、年金暮らしのシニア世代。生活費を少しでも節約しようと思いが、それなら、ポイントによる

効果を見逃す手はありません。

ただポイント

のために、要らぬ物まで買うのは本末転倒なので、その点は気を付けます。

「面倒だから」「よく分からないから」と尻込みしないで、ポイントを大いに利用し「賢い消費者」を目指しましょう。

